



発行所
高知県立盲学校
高知市大膳町 6-32
TEL 088-823-8721



旅立ちの日に！

令和5年度もあつという間に旅立ちの日を迎える季節になりました。今年度卒業する皆さんは、学生生活の大半をコロナ禍で過ごし、感染症対策を守って、大声を出すことも遠慮しがちな日々を送ってきました。そんな卒業生の気持ちを察したかのよう旅立ちの日（卒業式）は、巣立ちゆく卒業生にみんなど式歌の心地よいハーモニーを奏で、エールを送りました。体育館がひとつになった感動の瞬間は、今でもまぶたの奥にのみがえります。卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。盲学校はいつでも皆さんの故郷であり続けたいと願っています。

令和5年度卒業式の様子！

【高等部本科普通科卒業証書授与式】

山の木々や野の草花に新たな息吹を感じはじめた今日の佳き日に、PTA代表、石川リエコ様、高橋鈴香様並びに保護者・ご家族の皆様のご臨席を賜り、令和5年度高知県立盲学校高等部卒業証書授与式を挙行できますことに心より感謝申し上げます。

高等部本科普通科を卒業されますアレキサンドル勇希クリスティアンさん、安岡未来さん、井上 翔さん、卒業おめでとう。

今、皆さんの脳裏には、楽しかったこと、辛かったこと、うれしかったこと、頑張ったことなど、盲学校での思い出が走馬灯のように駆け巡っていることと思います。

先ほどお渡しした卒業証書は、高等部での3年間、皆さん一人ひとりの努力、頑張りをたたえる証です。どうか大切にしてください。皆さんは高等部入学当初より、新型コロナウイルス感染症により学習活動の制限、学校行事

の縮小や中止、先行きが見えない不安や焦り、やり場のない葛藤、どうしようもない苛立ちを抱えながら過ごした2年間だったのではないでしょう。3年生となった5月より、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類に移行され、感染症対策を講じながらではありませんが、ようやく校外での学習活動や学校行事がコロナ禍前のように実施できるようになりました。少しでも1、2年生で、できなかったことを取り戻すことはできたでしょうか。学校行事では、「みんな一緒に力を合わせて頑張ろう！」のスローガンの下、力を出し切り頑張った高等部最初最後の運動会、ピアノ演奏や歌唱、ランウェイで自慢の歌声やダンスを披露した文化発表会、特に2年生と行った3泊4日の修学旅行では、楽しみにしていたデイズニールランドや東京スカイツリー、劇団四季の鑑賞、コリアンタウンや浅草の散策など思い出がたくさんできたのではないのでしょうか。

アレキサンドル勇希クリスティアンさん、自分の体調と相談しながら登校した時期もありましたが、後輩からの相談事に耳を傾け、アドバイスするなど後輩から慕われていましたね。また、全国障害者スポーツ大会では自慢の俊足を生かし、見事、陸上競技の50m走で金メダルを獲得。その記録は、令和5年度全国盲学校通信陸上競技大会でも第1位となる輝かしい成績でした。これからも色々なことにチャレンジしてください。

安岡未来さん、後輩が困っているときさげなく声をかけるなど、心優しい先輩でした。また、自分の障害と向き合い、様々なイベントに参加する積極



全員で答辞を披露！



ともに過ごした思い出の教室で！

的な行動には、感心させられました。いよいよ4月からは大学生です。今まで以上に訓練が待っていると思いますが、持ち前の行動力と頑張り立派な社会福祉士を目指してください。

井上 翔さん 小学部3年から10年間、盲学校に頑張つて通いましたね。体調がすぐれず心配したこともありましたが、心身ともに成長し大変うれしく思います。翔さんには後輩に気軽に声をかける優しさや、場を明るくする不思議な力がありました。翔さんとの思い出はたくさんありますが、小学部、中学部、そして高等部で一緒に行った修学旅行です。特に高等部の修学旅行の最終日には、みんなもともと「修学旅行を続けたい」「終わりがたくない」という思いから、お粒の涙を流したことがとても印象に残っています。そんな明るさ、優しさを卒業後も新しい生活の場でも持ち続けてほしいと思います。みなさんは4月から新しい場所で、新たな人生を歩み始めます。決して、楽しいことばかりではありません。時には辛いことやしんどいこと、人間関係で悩むこともあるでしょう。

そんな時は、この盲学校で最後まで弱音を吐かず乗り越えていけるはず。そして、これから、いろいろな人との出会いがあると思います。その出合いを大切にしてください。悩みがある時や困った時には良き相談相手となってくれるはず。

終わりにになりましたが、卒業生の保護者、ご家族の皆さま、本日は誠にありがとうございます。

す。お子様のご卒業を教職員一同、心より喜びを申し上げます。本校に入学されたときは、何かと心配なことやご苦労があったことと思いますが、今、お子さんがこうして立派に育ち、成長した姿に感慨も一入のことと存じます。皆様のこれまでのご尽力に敬意を表しますとともに、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

また、ご臨席賜りましたPTA代表、石川様、高橋様、元本校教職員の皆様、本日は卒業生の前途を祝福、激励くださり誠にありがとうございます。今後とも卒業生へのご厚情と、本校へのご支援をお願い申し上げます。

名残は尽きませんが、卒業生のこれからの人生に幸多かれと願い、式辞といたします。

令和6年3月1日
高知県立盲学校校長 中野 直喜

【中学部卒業証書授与式】

「祝辞」
厳しかった冬の寒さも和らぎ、春の訪れを感じる季節になりました。

尾崎清志郎さん、村井静紀さん、ご卒業おめでとうございます。

また、ご家族の皆様、今日の佳き日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

そして、校長先生をはじめ、先生方、職員の皆様、寄宿舎指導員の皆様、子どもたちをいつも温かくご指導いただき、ありがとうございます。保護者を代表いたしまして感謝とお礼を申し上げます。

清志郎さん、コロナの影響もあり、盲学校と一緒に活動することが難しい期間もありましたが、昨年度の文化発表会ではオンラインで元気な様子を知ることができ、大変うれしかったです。近況によると、今も変わらずアパンマンが大好きという話を伺い、微笑ましい気持ちになりました。

振り返りますと、娘が幼稚部の時、清

志郎さんは小学生でした。娘はその頃、清志郎さんに色々ちよっかいを出してしまいましたが、年の離れた後輩だからという理由で、嫌な顔ひとつせず全部許してくれました。なんて頼もしく、優しい先輩なんだろうと私は今でも感謝しています。

そして静紀さん、静紀さんからはどんな場面でもポジティブな言葉が出てくるので、素敵だなど感心しています。また、登校の時に娘が昇降口で泣いていると、静紀さんがこちらに来て「大丈夫よ」と声をかけてくれたことが何回もありました。優しく寄り添ってくれてありがとうございます。

最近では、文化発表会のファッションショーで大好きな中森明菜ちゃんになりきり、楽しそうにランウェイを走っていた姿がとってもかわいかったです。高等部に進学しても、元気で明るい静紀さんでいてください。

四月からは新生活が始まります。進路はそれぞれ違いますが、優しさに溢れ立派に成長されたお二人は、これからもたくさんの人を幸せにしてくれることと思います。新たな出発が、健やかで実り多きものとなりますよう心から応援しております。

最後になりましたが、高知県立盲学校のご発展と、卒業生並びにご臨席の皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたしまして、私からお祝いの言葉とさせていただきます。

令和6年三月十五日
高知県立盲学校
PTA副会長 高田 麻美

担任の先生と一緒に答辞！



おめでとうロード！



（二期期載せたかった）おまけーと
 三学期の様子
 （でも全部載せられず残念！）

【12月】
 「能津小学校との交流」

（お餅つきに学習発表会！）

コロナ禍でも決して絶えることのなかった日高村立能津小学校と小学部との交流。昨年までは直接ではなく、リモート交流が続きました。今年は久しぶりに直接、訪問して交流することができました。到着すると能津小学校の皆さんは小学部の子どもたちを名前で呼んでくれて、早速、仲間に加えてくれました。学習発表会がメインの交流ですが、いつも地域の方が、熱い「おもてなし」をしてくれます。今回もみなでお餅つきを体験し、試食タイム！自分でついたお餅を使ったあんこ餅はいかがですか？みんなの愛情がこもった「おもてなし」や「発表会」に時間が経つのも忘れてしまいうようです。



あんこを丸めて！

杵でお餅をつくぞ～！

【1月】

「高知商業高校ジビエ部さんとの交流！」

現在ジビエ給食のレシピを共同開発している高知商業高校ジビエ部さんとの交流の一環として、1月20日（土）に本校で開催された『にこにこ市』で、ジビエ部さんが開発した、『ジビエパイ』と『鹿ジャーキー』を販売しました。また、中央公園にて開催しているテイクア

ウトフェスタの高知商業高校ジビエ部のブースでは、本校の普通科2年生が永国寺町のパン屋さんとコラボしたオリジナルパンを販売してもらいました。テイクアウトフェスタでは、販売開始からたくさんのお客さんがジビエ商品と一緒にコラボパンを手にとってくれていました。なんと1時間半で完売したそうです。

にこにこ市でも、めったに買うことができないジビエ商品の販売ということもあり、販売開始20分ほどで完売しました。今後もいろいろな形で交流をしたいと思いま



「文化発表会！」

（ファッションショーにスピードキングコンテスト、にこにこ市も！）

デザイナーで明菜もびっくり！

タイトルに迷うほど今年の文化発表会は盛りだくさんな企画さんま！決して迷走しているわけはありません！ファッションショーは教職員から着なくなった古着を集めてアレンジ・リメイクして登場！（G.O.G.O.）を考える授業の一環です！あまりの出来の良さと大好きな明菜ちゃんの曲をバックミュージックにラウンウェイをカッコよく決めて歩いているうちに気分も最高！

保護者の有志の皆さんも文化発表会のステージ発表に向けて毎日、授業の裏でこっそりと練習していました！当日はみんながよく知っているミッキー・マウスマーチを色々な楽器で演奏し、子どもたちもお母さんたちの意外な？一面に驚いていました。（アンコールも鳴り止みませんでした）
 他にも小学部児童・教職員による「大きなカブ」の発表劇や中高等部生徒による合唱や俳句・川柳の発表などもあり、ステージ発表

はとても盛り上がりました。展示部門では日頃、授業や活動で制作した様々な作品も会場に展示され、参加者が熱心に見入っていました。特に今の自分たちの気持ちを粘土等で表現した作品にはそれぞれコメントが添えられ、鑑賞する人たちの心に訴える深い表現力を感じました。



デザイナー！（中森明菜さん風？）
 ファッションショーより



保護者有志によるミッキー・マウスマーチ！

リンベルさんと共同で作ったパンも販売しました！（完売）



カラフルどり（鳥）
 小学部3年生作品

スピードキングコンテスト最優秀作品
 （表現力が深い？）作品です！

「フコク生命訪問コンサート！」

（日本フィルハーモニー交響楽団 弦楽四重奏）

フコク生命が主催し、全国の特別支援学校にプロの演奏家を派遣するプロジェクトが盲学校で開催されました。当日は日本フィルハーモニー交響楽団のヴァイオリン 遠藤直子さん、ヴァイオリン 伊藤太郎さん、ヴィオラ 江藤史織さん、チェロ 山田智樹さんが盲学校を訪問され、ハイドンの弦楽四重奏曲など多くの聞きなじみのあるクラシック音楽を演奏。子どもたちは、直接、弦楽器を触って演奏体験を行うタッチ・ザ・ミュージックを通じて交流を深めました。最後のアンコール曲には盲学校の校歌を演奏してくださいました。



タッチ・ザ・ミュージック
 プロの演奏家の方から弾き方を教えてもらいました！

【2月】

「土佐和紙を原料からつくりました！」

（土佐和紙造形作家 西村優子さん！）
 吾北地区で土佐和紙の魅力を地元の高校生に教えている土佐和紙造形作家 西村優子さんと職人さん（田村さん、田岡さん）が特別講師として盲学校を訪問され、体験教室が行われました。なんと今回は原材料から和紙をつくります。「なんで鍋？」、「この棒のようなものは何？」子どもたちも大人も興味津々の様子！



鍋でうどんを煮ています！
 紙づくりは不思議！

までこんなにも大変な工程があるんですね！まだドロドロの和紙は会議室の窓で乾燥中です！出来上がりが楽しみです！



繊維を柔らかくするために
 叩いています！

「令和6年能登半島地震の募金について！」

元日の能登半島を襲った大きな地震。決して他人事とは思えず、子どもたちも動き出していました。きつと自分たちの行動が誰かの助けになっていることを信じて！学校のみんなに呼びかけた募金を日本赤十字社高知支部へ学校を代表して、生徒会副会長の石建未琴さんが届けてくれました。



「高知みらい科学館へ行ってきました！」

高等部2年生は、理科の授業で高知みらい科学館に行ってきました。科学のふしぎを体験し、とても勉強になりました。



地球はひとつ！
 かけがいのない未来

編集後記

令和6年の幕開けは衝撃の災害や羽田空港航空機事故のニュースから始まりました。気が付けば自分の周りには予測不可能な出来事がいつ訪れるとも限りません。そんな中でも子どもたちは一筋の光を頼りに未来を信じ、少しずつ今の自分を変えようと歩み出しています。今年度は多くの皆様のご支援のおかげで貴重な体験の機会に恵まれました。子どもたちも誰かに頼るだけでなく、自分自身で行動する大切さも学んだ一年間でした。次年度の盲学校にも熱いエールをお願いします。